

平成21年度病害虫発生予報第2号(5月予報)

<お知らせ> トマト黄化葉巻病の防除に関するお知らせがあります(裏表紙参照)。

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

カンシャワタアブラムシ(サトウキビ)

(別名: サトウキビコナフキツノアブラムシ)

学名: *Ceratovacuna lanigera*



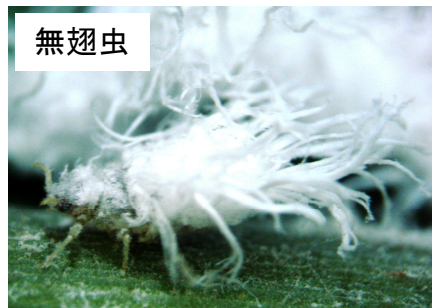
寄生株



有翅虫



コロニー



無翅虫



幼虫



捕食性天敵

生態と被害

無翅虫は体長約2mm、暗黄褐色で体表から大量の白いワックスを分泌する。有翅虫は体長約2mm、翅長約3.5mm、頭部・胸部・触角は黒褐色、腹部は黄褐色である。成虫は単為生殖で産下し、増殖する。幼虫の体長は0.7~2mm、有翅虫幼虫が無翅虫幼虫よりやや大きい。1齢幼虫は頭部先端の角の長さが他の齢期より長く、捕食性天敵の卵や幼虫を攻撃する。

本種は年十数世代を繰り返し、4~5月と10~11月に発生のピークがある、無翅虫は年間を通して発生するが、有翅虫は秋から春にかけて発生する。成・幼虫ともサトウキビの葉裏に密集し、吸汁加害する。また、大発生すると本種の排泄物である甘露によってすす病を併発し、生育が阻害される。

平成21年4月28日

沖縄県病害虫防除技術センター